



# 梅田通信

No. 31  
平成27年  
8月28日発行

2015. August

日野市議会議員 梅田俊幸 後援会 梅田通信

UMEDA TOSHIYUKI'S NEWS

## 市政報告

### 残暑お見舞い申し上げます



梅雨時は、肌寒いと感じる日もありましたが7月に入り一転、大変暑い日が続いております。特に梅雨明けからは、真夏日が多く、8月に入りまして猛暑日が続いております。特に高齢者の方々には、くれぐれも熱中症には、気を付けて下さいますようお願い申し上げます。

梅田俊幸議員は、3月議会では「都市農業振興基本法」の制定を見据えてまた、東京都に於いても「都市農業特区」の構想もあることから日野市の農業の今後について「今後の都市農業について」と題して一般質問を行い、また6月の第二回定例会では「今後のまちづくりの課題」、今まで取り残されたまちづくりの課題や今後の計画等について、市の考えを質しました。(次頁以降に要旨掲載)

また、第二回定例会最終日の6月17日には、今国会で議論されている「平和安全法制に関する意見書」を提出しました。(次頁以降に要旨掲載)

安倍総理は、8月14日、戦後70年を迎えるあたり「内閣総理大臣談話」を閣議決定し、発表しました。談話については、発表前からマスコミや野党等は内容について様々な言い分を展開していました。しかし、談話のキーワードと位置付けられていた「侵略」「植民地支配」「痛切な反省」「お詫び」についても、すべてを使いながら歴代内閣の立場を踏襲すると明確に示し、あらためて閣議決定をしたことも反安倍言論人は拍子抜けしたように感じました。問題点

があると感じている方もいる村山、小泉談話も継承するとあらためて表明した訳ですから中韓の論調も少しトーンダウンでした。むしろ注目すべきは中韓の反応だけでなく、他のアジア諸国や欧米の安倍首相の評価であり、特に米国での国家主義者との評価はなくなるのではとの報道があります。

日本の国際復帰を支えてくれた国や人への感謝や残留孤児を育ててくれた中国人、慰霊を続けてくれている欧米人の元捕虜の皆さんへの感謝の気持ちなどこれまでにないことを表明したことも欧米は評価しています。

また、明治時代からの歴史的な流れを的確に示しながら、日本の立場を私たちの子や孫に継承しながらも、私達の代でけじめを付けて未来に託すことにも触れた点に評価があり、私も賛同するものです。戦後70年の節目の談話として、戦争経験のない私達や近現代史に疎い若い世代の方々にも理解できる談話ではないかと思えます。

梅田俊幸後援会より

第12回バス旅行10月18日(日) 成田山新勝寺・道の駅やちよ、航空科学博物館見学  
お誘い合わせの上、皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

今後も市民の皆様と共に活動を推進する所存ですので宜しく願い申し上げます。

平成27年 晩夏 梅田 俊幸

## 市議会報告

## 平成27年度第1回定例会報告

## 平成27年度第1回定例会一般質問「今後の都市農業について」（要旨）

農業関係者にとって長年の要望でありました「都市農業振興基本法」は、昨年の臨時国会での成立予定が衆議院解散総選挙により継続審議となりましたが今国会での成立予定であることを受け（4/16成立）、また、東京都に於いても農業特区申請を舛添知事が石破大臣との懇談で表明したことから（4/17東京都39市区町村特区申請）、今回は、日野市の今後の農業施策について質問を行いました。

東京都に於いても、また日野市でも市街化区域内農地は、年々減少しています。主な原因は、相続時の高額な税負担と農業者の高齢化による担い手不足です。生産緑地における税制優遇（固定資産税の農地優遇、相続税納税猶予制度等）がありますが全く歯止めが掛かりません。一方、都政モ

ニターアンケートによると東京に農地を残したいと考える都民は85%に上り、防災や環境等の視点からも市街化区域であっても農地を残したいと考える市民は多数です。

このような現状を踏まえ、日野市や様々な農業団体に於いても、今回の都市農業振興基本法の制定は積年の思いがようやく国会で制定され、実現出来たものであり、制定後、都市計画法や税制等、関連法制の見直し等が期待されます。

また、日野市でも東京都の特区申請に参加表明をしたことにより、国、東京都と連携した農業政策の推進が図れることと思います。

今回の法案制定や特区申請により、日野市の農業がより一層活性化され、農地の保全に繋がることを願っております。

## 市議会報告

## 平成27年度第2回定例会報告

平成27年度第二回定例会は、6月1日から17日まで開催されました。議案14件、報告5件、追加議案1件があり、全案件は可決されました。一般会計の補正予算（第1号）は、約2億1千4百万円の増額補正であり、主な歳入では、国、都支出金、繰入金、市債等で主な歳出は、介護保険繰出金（負担の見直し、低所得者への軽減）、地区センター建設、歯周疾患健診拡大、プラ類再資源化施設整備、オリンピック・パラリンピック気運醸成事業費等です。

## ●主な事業報告

- ・特殊地下壕対策事業の今年度事業について、また、今後の対応について、梅ヶ丘地区以外でも存在が判明したことから国直轄対応への移行を要請しました。
- ・多摩平の森地区A街区公共公益施設等整備構想の実現に向けた取り組み状況では、公募の状況、募集内容、予定区割り等と社会教育センターの移転について
- ・オリンピック・パラリンピックレガシー創出に向けた日野市の考えと取り組みでは、開催年ターゲットイヤーとして、様々な取り組みを計

画、実施していく。主要3戦略の目指すまちの姿「いつまでもいつかきっと」住みたいまち日野の実現を図る。

創出するレガシーは、スポーツ、人づくり、おもてなし、として2020年以降も期待が出来る効果を目指します。今後も都の補助金を活用して様々な事業を展開していきます。

- ・農業特区については、4月に成立した都市農業振興基本法を受け、日野市でも特区申請を行いました。都内39市区町村で東京都における都市農業振興を展開していきます。

## 平成27年度第2回定例会一般質問「今後のまちづくりの課題」(要旨)

今回は、南平体育館の建替えや南平駅周辺整備について、豊田駅北口、駅舎及び駅前広場再開発の実現性、西豊田駅構想について、多摩平の森A街区南側土地について等、質問しました。

日野市のまちづくりは、30年は遅れているといます。過去の経緯はあるものの現在では、今後の人口減少などを見据えた、高齢化、定住促進等様々な視点からまちづくりを考えなければならないと思いますが行政では、前例踏襲的な手法が今でも散見されます。また、公共施設計画においても広い視野に立っての計画でなければならないと思ひ、市の見解を質しました。

### ・南平体育館の建替え

当初の耐震化は不可能となったため建替えとなった南平体育館の建替え計画は、体育館周辺や南平駅周辺計画等と連携した計画とはなっておらず、また体育館近辺には、バス等の交通整備はされていない現状があるにも関わらず都市計画課との調整も行っておらず、大事業である体育館建替えがただ前例踏襲的に行われようとしています。

### ・豊田駅北口周辺再開発

以前より再開発を提案し、要望していますが平

成26・27年度予算でコンサルを入れて計画を立案しています。駅舎の改造でもJRとの調整など問題山積ですが地元地権者等の賛同が得られる計画立案を望みます。

### ・西豊田駅誘致問題

前述の豊田駅北口周辺整備においてもJRとの調整は難しく、長年の懸案である西豊田駅誘致はさらに厳しい状況であることから、市民に対し責任ある決断をする時期かと思ひます。周辺地域の道路計画では、都市計画道路3.3.25線の計画があり、着手した3.3.24線と共に推進すべきと考えます。

### ・多摩平の森A街区駅側空地

A街区北側については、医療・介護・医師会・社教センター等の計画が予定されていますが南側駅寄りの土地については、まだ白紙の状況です。この土地を市として先行取得し、将来的に複合公共施設を計画したらどうかと思ひます。都内自治体では、民間との開発により事業費を捻出している計画もあり、駅前立地を生かした公共施設(例として市民会館・市庁舎等と住居の開発計画)を集積した計画を考えるべきと提案しました。

## 平和安全法制に関する意見書(要旨)

安倍内閣は、平和安全法制について国会に提出しました。我が国を取り巻く安全保障環境は、一層厳しさを増しており、国民の命と平和な暮らしを守ることは、国の最も重要に責務です。

切れ目のない平和安全法制を整えることにより、我が国の平和と安全及び、国際社会の平和と安全をより一層確保出来るようになります。このために、審議の中で国民の理解を得る努力を図り、必要に審議が尽くされた際には、本法制の早期の成立を図るよう強く求めるものです。

第二回定例会最終日の6/17、梅田俊幸議員が提出者となり、国への意見書を提案し、賛成多数により可決しました。

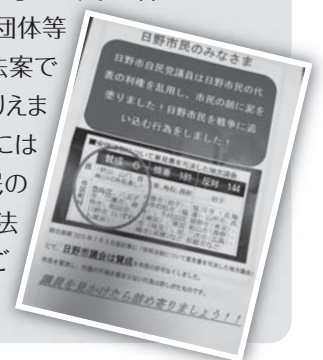
現在、国会では参議院で議論されていますが賛成署名を頂きました自民、公明、民主連合の各会派では、当然、会派内でも慎重な協議を行い賛同に至りました。賛成署名をするにあたり、会派内でも各議員で様々な考えがあるのは当然ですが国際情勢や日本の立場等、現状を踏まえた議論の末、会派としての考えを示して頂きました。

提案時には、共産党2名、無会派1名の議員から質疑が

あり、約1時間20分討論しました。質問者とのやり取りでは、野党や一部マスコミの論調と同様の憲法違反の法案との指摘や中国、北朝鮮の動向などには全く触れず、現在の国際状況にも全く着眼せずに兎に角、戦争を行うための法案だとの主張には、議論にはならず、現状認識のなさに呆れました。

また、7月からは、反対派が誹謗中傷ビラを当方の駐車場に撒いたり、電柱に貼ったりした嫌がらせがあります。人の道に反する方々の誹謗中傷や脅迫に我々は、屈することなく、これからも正論を主張し活動を行いたいと思ひます。

自民党の議員は一人として戦争を起さそう、したいなどと考えている議員はいません。今回のこの法案は、国、国民を守る法案です。戦争抑止のものだと考えます。一部マスコミや民主党、共産党等の野党、左翼団体等が宣伝している戦争をするための法案ではありません。ましてや徴兵制もありえません。戦争法案等のレッテル張りには辟易するばかりです。善良なる市民の皆様方には、是非とも今回の安保法制の趣旨、内容をよくご理解頂き、ご支援をお願い申し上げます。





活動報告

3 月

- 2日～27日 平成27年度第1回定例会
- 15日 南多摩医療圏災害医療訓練
- 21日 自民党日野総支部大会
- 28日 日野市障害者生活・就労支援センター開所式
- 29日 スプリングフェスタひの



4 月

- 6日 豊田小入学式
- 7日 七生中入学式
- 9日 ふたば幼稚園入園式



- 19日 春季剣道大会開会式
- 20日 明治神宮崇敬会日野支部世話人総会
- 26日 豊田堀之内用水組合総会

5 月

- 1日 新しい憲法を制定する推進大会



- 10日 第18回ひの新選組まつり
- 14日 豊田歴史を生かすまちづくりの会総会
- 16日 日野市防衛協会総会
- 22日 日野市商工会総代会

23日 日野市水防訓練



31日 豊田商店会わくわく市



6 月

- 1日～17日 平成27年度第2回定例会
- 6日 東京都防衛協会青年部会総会



- 12日 明治神宮崇敬会支部会員の集い
- 21日 少年バスケットボール連盟クリニック



27日 南相馬市除染ボランティア



28日 わんぱく相撲日野場所



7 月

- 1日 浅川清流環境組合設立議会  
自民党街頭報告会 高幡～豊田～日野



- 12日 日野市消防団応急救護審査会
- 17日 自民党三議連夏期研修会
- 18日 豊田小まつり



- 21日 豊田ビール発表会
- 23日・24日 企画総務委員会  
京都府綾部市・滋賀県草津市 視察
- 26日 ひのよさこい祭・サマーフェスティン  
たまだいら



8 月

- 1日 多摩平第七公園盆踊り
- 6日 東京都河川改修促進総会・大会
- 11日 市議会防衛議員連盟米軍横須賀基地視察



- 15日 靖国神社参拝

